

「ねこに魅了された人たち」による「音楽」&「アート」フェス 『ねこの日おめでとう NyART FESTIVAL 2025』 いよいよ開幕！

2025年2月7日(金)～3月27日(木)『ねこの日おめでとう NyART FESTIVAL 2025』
2025年2月22日(土)・23日(日)『ねこの日おめでとう MUSIC FESTIVAL 2025』

2025年、「ねこ」「音楽」「アート」を楽しむプロジェクト「ねこの日おめでとう MUSIC FESTIVAL & NyART FESTIVAL」初開催！
「ねこに魅了された人たち」による「音楽」&「アート」フェスです。2月22日のねこの日に先駆けて、2月7日(金)からは、『ねこの日おめでとう NyART FESTIVAL 2025』がハラカド4階特設イベントスペースにて開幕。

2月6日に行われた内覧会では、にゃんバスダーの女優・吉川愛、アーティストの沖昌之、とやちかこ、よこただいすけ、若佐慎一、Ryu Ambeが参加、一足先にNyART FESを堪能しました。

小さい頃からねこが大好きという吉川愛は「それぞれの作品に愛を感じてウキウキワクワクしました。ねこさんへの愛が溢れる展示会にぜひ足を運んでいただけたら嬉しいです！」と笑顔でコメントし、会場を隅々まで堪能していました。



豪華9名のアーティストたちによる展示コーナー！多彩なNyART作品がずらり！

宇野亜喜良、石黒亜矢子、沖昌之、とやちかこ、よこただいすけ、若佐慎一、Ryu Ambe、そして生前動物愛護活動に従事され、ねこをこよなく愛した八代亜紀、フジコ・ヘミングという、豪華9名のアーティストたちによるNyART作品展示は圧巻。ここでしか観ることのできない作品や新作描き下ろし作品も多数。ぜひこの機会にお楽しみください。ねこという存在の前では、人間の世界の階級も、年齢性別国籍も、何も関係なくなってしまう...その不思議な魅力が昔から音楽やアートに影響を与えているのかもしれない。「ねこ」という平和な条件下でそれぞれのクリエイティブを楽しむことができます。



<報道に関するお問い合わせ>

エイベックス・ライブ・クリエイティブ (株) ライブ事業本部 石橋千尋 090-1771-9388 ishibashi-chihiro@av.avex.co.jp

これもNyART！キャットタワーを使用した大型インスタレーション作品も登場

天然乾燥杉を使用し、化学物質や添加物を一切使用しない低刺激な商品開発にこだわる **杉にゃん@ニャンテリア**、そして創業53年キャットタワーを作り初めて38年 **サンエルペットワールド**のキャットタワーが出現。大迫力のインスタレーションをお楽しみください。そしてキャットタワーには沖 昌之が撮影した「隠れねこ」が..！他にも会場のどこかに「隠れねこ」がかくれんぼしています。あなたは何匹のねこに出会えるでしょうか。



ミュージなねこたち!! 『みんなの写真館』

一般募集をした「NyARTな写真作品」が展示されるリアル「みんなの写真館」ねこの日出張 in 原宿。選ばれし 約120点を展示！みんなの「推しねこ」作品が並びます！！



招きねこ発祥の地、縁結びの神様としても有名な“今戸神社”との特別企画

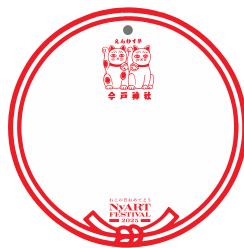
「招き猫の発祥の地」「恋愛成就のパワースポット」として知られる浅草・今戸神社との特別企画も実現。

今戸神社の協力のもと、「NyART作品」として1対の招き猫や、宮司による墨絵作品も展示するほか、NyART FESTIVAL 2025 限定デザインのオリジナル紙絵馬もご用意。会場パネルに掛けられた紙絵馬は後日、今戸神社に奉納します！

また、墨絵作品は内覧会でイラストレーターとしても活躍する、市野智絵宮司による『開運招福のライブドローイング』を実施しました。

「皆様のもとに福が招かれますように！」と込められた墨絵作品は会期中、特別企画エリアにて展示しております。

バレンタインデー・ホワイトデーのこの時期に、今戸神社の招き猫パワーをもらいにきてはいかがが…？



▲紙絵馬イメージ



ハラカド全体で「ねこの日おめでとう！」ねこをモチーフにしたオリジナル商品が一部登場！??

ハラカド内がNyART FESTIVAL会期中「ねこ」だらけに！?なるコラボ企画も実施予定。

ハラカド内一部テナントによるオリジナル「ねこ」メニュー・アイテムが登場！

さらにオリジナル「ねこ」メニュー・アイテムの購入&NyART FESTIVALのチケット購入・ご来場で、本企画のためだけに製作された限定ねこポーチがもらえる特典付！



▲特典 限定ねこポーチ



充実したトークイベント・ワークショップも開催！

アーティストたちの貴重な製作秘話を辿り、NyARTの魅力に迫ります。
<トークイベント>

@ハラカド3F「BABY THE COFFEE BREW CLUB」

2025年2月8日（土）

14:10～14:50 沖 昌之 × MC艸谷真由

15:00～15:40 とやちかこ × MC艸谷真由

15:50～16:30 茂木崇幸（EIGHT AND※八代亜紀絵画担当） × MC艸谷真由

2025年2月16日（日）

14:10～14:50 熊澤志保（朝日新聞出版 AERA副編集長NyAERA担当） × 中村真哉（ニュートンプレス
取締役・書籍編集部部長）

15:30～16:15 若佐慎一 × MC艸谷真由

<ワークショップ>

@ハラカド4F NyART FESTIVAL 会場内 物販エリア

2025年2月9日（日） Ryu Ambe シルクスクリーン

2025年2月23日（日） Ryu Ambe シルクスクリーン

- ・「ねこ型アボカドタコライス」MEXICAN GRILL AVOCADO
 - ・「ねこミルクプリン」THE MOR WORLD BURGER
 - ・「にゃんごはんプレート」バインミー ☆ サンドイッチ
 - ・「ネコクレープ」ABC canteen
 - ・「濃いにゃつ茶ラテ」THE STANDARD DRINKS
 - ・「にゃん×2 ジェラート」Giolitti
- ※一部コラボ商品となります。他コラボ商品は続報をお待ちください！

ここでしか手に入らない！

中川翔子とBEAMSの共同プロデュースファッションブランドmmtsとの限定コラボグッズにも注目！！

会場内、グッズ販売コーナーでは中川翔子とBEAMSが共同プロデュースするファッションブランドmmts(マミタス)とのコラボ商品を販売！
他にも一部作家陣によるオリジナル商品も販売。ここでしか手に入らないねこグッズを展開。

オリジナルグッズ（一部）

mmts（マミタス）とのコラボレーショングッズや、オリジナルアイテムが豊富にラインナップ。



▲オフィシャルTシャツ（全4デザイン）



▲手ぬぐい（全2デザイン）



▲マグタンブラー（全2デザイン）



▲mmtsコラボ Tシャツ



▲mmtsコラボ キャップ

<『ねこの日おめでとう NyART FESTIVAL 2025』 概要>

【タイトル】 『ねこの日おめでとう NyART FESTIVAL 2025』

【開催日程】 2025年2月7日（金）～3月27日（木）／営業時間11:00～21:00
※2月20日（木）は休館日
※最終入場20:30

【会場】 ハラカド4階特設イベントスペース（渋谷区神宮前6丁目31-21 東急プラザ原宿）

【アーティスト】 宇野亜喜良 石黒亜矢子 沖 昌之 とやちかこ
よこただいすけ 若佐慎一 Ryu Ambe
フジコ・ヘミング 八代亜紀 ※順不同

【席種】 にゃんチケット（mmtsコラボ限定オリジナルトートバッグ付）：4,500円（税込）

※数量限定のため予定枚数に達し次第、販売終了いたします。
※mmtsコラボ限定オリジナルトートバッグは、販売用のグッズ（3,500円）と同じものです。
※特典グッズはご来場日当日、会場にてお引き換えください。
イベント期間以外でのお引き渡しはできませんので予めご了承ください。

一般（前売券）：1,600円（税込）

一般（当日券）：1,800円（税込）

※チケット1枚につき1名様1回限り有効です。イベント期間中、いつでもご利用可能です。
半券のみや、半券切り離し済の場合は無効となります。
※再入場はできませんのをご確認ください。
※未就学児入場無料。未就学児のお子様は必ず保護者同伴でご入場ください。
※障害者とその介護者1名は無料。チケットは購入せず、入場時に障害者手帳等をご提示ください。
※グッズエリアは無料でご入場いただけます。
※ご購入後の返金・クレーム等は一切お受けできません。
また、いかなる場合（紛失・破棄・盗難・破損・持ち忘れなど）におかれましてもチケットの再発行はできません。

お客様がチケットを購入した証明（発券証明や領収書や購入履歴画面・メール）をご提示いただいてもご入場頂くことはできませんので、予めご了承ください。

【問い合わせ】

公演事務局： <https://supportform.jp/event>（平日10:00-17:00）

※お問い合わせは24時間承っておりますがご対応は営業時間内とさせていただきます。

なお、内容によってはご回答までに少々お時間をいただく場合もございますので予めご了承ください。

※会場等、上記問合せ窓口以外にお問い合わせいただいても、ご回答できかねますのでご了承ください。

●公式HP：<https://happycatday.jp/>

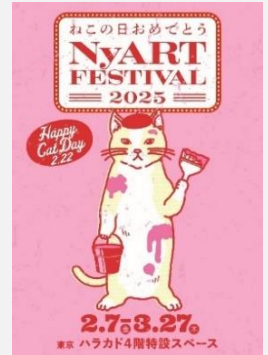
●公式X： @happycatday222

●公式Instagram： @happycatday222

●主催：ねこの日おめでとう実行委員会

●後援：BSフジ／ TOKYO FM

●協力：NyAERA（朝日新聞出版）（<https://dot.asahi.com/nyaera/>）



▲にゃんチケット特典オリジナルトートバッグ

2月22日ねこの日は、連動企画の音楽フェス『ねこの日おめでとう MUSIC FESTIVAL 2025』も開催!!

連動企画の音楽フェス『ねこの日おめでとう MUSIC FESTIVAL 2025』は、2025年2月22日（土）・23日（日）にLINE CUBE SHIBUYAで開催。DAY1に、大黒摩季、STAYCHILL、DENIMS、優河、オープニングアクトにRyu Matsuyama、DAY2に、阿部真央、アルカラ、佐藤竹善、DEEP、Les Freres、wacci、オープニングアクトに にゃんぞぬデシ という ねこ好きたちが集結し、「ねこの日おめでとう！」と音楽で挨拶し合う。チケット先行販売中。

【タイトル】 『ねこの日おめでとう MUSIC FESTIVAL 2025』

【開催日程】 2025年2月22日(土)・23日(日)
DAY1 2月22日(土) “Happy Cat Day” 16:15開場／17:00開演
DAY2 2月23日(日) “After Party” 15:15開場／16:00開演

【会場】 LINE CUBE SHIBUYA (東京都渋谷区宇田川町1-1)

【アーティスト】 DAY1 : 大黒摩季、STAYCHILL、DENIMS、優河
オープニングアクト Ryu Matsuyama

DAY2 : 阿部真央、アルカラ、佐藤竹善、DEEP、Les Freres、wacci
オープニングアクト にゃんぞぬデシ
※五十音順 ※タイムテーブルは後日発表いたします

【席種】 SS席 (PREMIUM特典付) : 22,000円 (税込)

<PREMIUM特典>

- ・最前5列目～10列目まで保証・数量限定
※1列目～4列目は張り出し舞台設置のため座席を撤去しております。
最前席は5列目となります。
- ・mmts (マミタス) コラボ 限定非売品フーディー ・肉球ペンライト
・限定非売品プレミアミネートパス ・物販エリア優先入場券

S席 (肉球ペンライト付) : 11,500円 (税込)

S席 : 8,800円 (税込)

A席 : 4,400円 (税込)

【問い合わせ】

公演事務局 : <https://supportform.jp/event> (平日10:00-17:00)

●公式HP : <https://happycatday.jp/>

●公式X : @happycatday222 ●公式Instagram: @happycatday222

●主催 : ねこの日おめでとう実行委員会

●後援 : TOKYO FM/BSフジ

●協力 : NyAERA (朝日新聞出版) (<https://dot.asahi.com/nyaera/>)



宇野亞喜良

イラストレーター・グラフィックデザイナー。1934年愛知県名古屋市生まれ。カルピス食品工業、日本デザインセンター、スタジオ・イルフィル、スタジオReを経てフリーランス。50年代から企業広告や演劇ポスター、絵本手がけるようになり、鬼才のイラストレーターとして活動を開始。60年代末には演劇実験室・天井桟敷などのアンクラ演劇ポスターや舞台美術を担当するなど、一躍時代の寵児として脚光を浴びる。90年代からは展覧会のキュレーションや舞台の美術監督を務め、近年は俳句とのコラボレーションを発表するなど、現在も多彩な分野で活躍。1956年日宣美展特選、60年日宣美展会員賞、82年講談社出版文化さしえ賞、89年サンリオ美術賞、92年赤い鳥さし絵賞、2008年日本絵本賞、13年全広連日本宣伝賞山名賞、15年読売演劇大賞選考委員特別賞等を受賞。1999年紫綬褒章、2010年旭日小綬章受章。刈谷市美術館、Bunkamuraギャラリー、ギンザ・グラフィック・ギャラリーほか、個展多数。



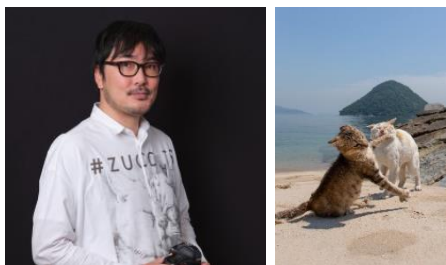
石黒亜矢子

1973年生まれ。絵描き。絵本作家。



沖 昌之

猫写真家。1978年 兵庫県神戸市生まれ。2009年 東京のアパレルに勤務するまでカメラに興味はなかったが、宣伝用人物・商品の撮影担当ののち、2013年大晦日に初恋のネコ「ぶさにゃん先輩。」に出会い2014年の元旦から猫の撮影を開始。2015年 37歳 猫写真家として独立。猫の表情や仕草から想像できる感情や猫同士の複雑な関係性など人間臭さを感じさせる猫の内面にスポットを当てその瞬間を撮影。現在は「AERA」「猫びより」「デジタルカメラマガジン」で連載中。instagramのフォロワーは48万人（2024年11月現在）と数多くのファンを獲得。instagram okirakuoki X (旧Twitter) okirakuoki



とやちかこ

美術家・イラストレーター。「境界線のない融和」をモットーに、キャンバス上ではあらゆる生命を共生させることを志し、いきものたちのかわいらしさやたくましさを表現。日常の営みからのインスピレーションを取り入れ、鑑賞者に幸せを届けるような作品を目指す。猫は好んで取り入れている代表的なモチーフ。キュートな存在に魅せられている。TIS公募、ペーターズギャラリーコンペ、ザ・チョイス、UNKNOWN ASIA等受賞多数。京都府出身、東京在住。



よこただいすけ

絵本作家／イラストレーター。1973年 東京都生まれ。1995年 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業後、渡米。2001年 Art Center College of Design (アメリカ/バサデナ) Graphic Design学科卒業。帰国後グラフィックデザイナーとして勤務、2005年よりフリーに。現在は絵本作家、イラストレーターとして活動中。2008年より株式会社ベネッセコーポレーション小学生英語教材「BE-GO Global」のキャラクター開発に携わり、現在も同社こどもちゃれんじキャラクター「しまじろう」を中心としたキャラクターイラストや絵本なども手掛けている。子供も大人も楽しめるダンボール工作ワークショップや表紙だけ絵本ワークショップなども積極的に開催し活動の幅を広げている。



<「ねこの日おめでとう NyART FES 2025」アーティスト／プロフィール> ※順不同

若佐慎一

1982年広島生まれ。広島市立大学大学院博士前期課程造形芸術専攻 修了
大学で日本の伝統画法を学び、卒業制作を同大学の首席に当たる買い上げとなる。卒業後、月刊美術主催公募展「デビュー」にて準グランプリ受賞。日本の風土と宗教観をテーマに、漫画やゲーム、アニメの特徴とされる要素を作品内に取り込み制作する。活動は国内外問わずその場を広げ、伝統工芸の「長艸繻巧房」への原画提供や、NYのファッションブランド「sawa takai」、でんぱ組.incの相沢梨紗が手がける「MEMUSE」とのコラボ、そして、メディアアーティスト落合陽一、デザイナー串野真也と共にファッションブランド「凄く若い」を立ち上げるなど多岐にわたる活動を見せる。栃木県立美術館、広島市立大学、円覚寺塔頭龍院庵、作品所蔵。



Ryu Ambe

1989年6月生まれ。ポップ、キュート、シニカル、をキーワードとした表現を通し活動している。オリジナリティ溢れる色とキャラクターで、これまで数々のアパレルブランドや音楽フェスなどとコラボレーションをしている。時には街やホテルの壁画、ショップのウィンドウ、また平面的な素材ばかりでなく、ビン、ビーチストーン、流木など立体的な物へ描写を通し作品を発表し続けている。2015年に絵本「あからんくん」の発売を機に本格的に活動を始め、2016年に茅ヶ崎「MAR-VISTA GARDEN」にて初めての個展を開催した。地元茅ヶ崎でのストリートアートが話題となり、Yuzoストリートやサザンストリート等を中心に、街中至る所に壁画アートが描かれている。一方、ライフワークとして気になる街に住むように旅をし、オリジナル作品「TRIP DIARY ZINE」を発表している。



フジコ・ヘミング

本名／ゲオルギー・ヘミング・イングリット・フジコ
ベルリン生まれ。青山学院高等部在学中にデビュー・コンサートを果たし、東京音楽学校（現・東京芸術大学）在学中にNHK毎日コンクールなど多数受賞。その後ドイツへ留学、ヨーロッパにて演奏家としてのキャリアを積む。
1999年NHKのドキュメント番組『フジコ～あるピアニストの軌跡～』が大反響、CD『奇蹟のキャンペラ』は、クラシック界異例の大ヒットを記録。
公演活動で多忙を極める中、猫や犬をはじめ動物愛護への関心も深く、長年の援助も続けている。



八代亜紀

熊本県八代市出身。1971年デビュー。1973年に出世作「なみだ恋」を発売。その後、「愛の終着駅」「もう一度逢いたい」「おんな港町」「舟唄」等、数々のヒット曲を出し、1980年には「雨の慕情」で第22回日本レコード大賞・大賞を受賞。レコード・CDの総売上枚数が女性演歌歌手で1位の記録を保持している。また絵画では、画家の登竜門とも言われる世界最古の美術展、フランスの「ル・サロン」で5年連続入選を果たし永久会員となる。2010年、歌唱技術が認められ文化庁長官表彰を受賞。2012年、ジャズアルバム「夜のアルバム」を発売。邦人アルバム史上最大級となる世界75ヶ国に配信され、Billboard JAPAN Jazz Albums of the Year 2013を受賞。芸能生活50周年を迎えた2021年には、卓越した歌唱力と魅力的な歌声で歌謡界を牽引してきた功績が認められ、第42回松尾芸能賞 大賞を受賞。2023年9月、膠原病の治療のため活動休止。2023年12月30日、永眠。2024年12月、第66回日本レコード大賞・特別功労賞を受賞。

